

亞米利加よりの私信

在米 幻

本月は在米朝露生よりの原稿は来らず、今年の正月に着く積に、昨年暮家族との寫眞を送りたるに對して、左の私信あり、面白き節もあれば、其儘載することゝしつ。(東生)

これは御捕でようこそ御出下されましたマア貞一さんの大きくおなりなさいましたこと、貞二さんにはお初に御目にかゝります余念のなほお顔まことに可愛らしきこと、サアどうぞおかけなして……と申したところがせまくなるしひルム、椅子は唯一つ……そこがエマツ子・シヨンの不思儀サにてこの机の上に、約束の珍客様がたを御招待できるのですまことにとらちらしてゐますがマア御ゆつくりと御話下さいませ

この頃は朝の六時から夕べの五時まで十一時間のはたらき、それから例のパター嬢の貸家の方に廻りて用をすまし梟や蝙蝠のやうに日暮れてからこつちの天地、こんなせまきところにて解文字を書きちらしてゐるわけ、イヤハヤ殺風景至極、無趣味千萬、オマタニこの頃は龜甲形の文字までも讀み試みてゐるので、原稿もロクに書かれず大すきな子ども手紙はこんなに掛くなつてゐるのに、新年來返信も書かず居るので新年と云へばとくに私としたことが御目出たうを云ふのを忘れてゐたそれこそアンマリ御目出度わけ、御ゆるし下さひ

鹿瓜らしく賀状書いたところで下手に遅れると二月になつてから横濱につくなんぞあんまり滑稽だからことしはどこへも年賀状は書かぬことゝきめたのですなどと云ふて追々ブルくなまけてくるのでアメリカ風に吹かれた効能などゝ冷がしてはチト酷ですがどうもやむを得ぬのでサンテアと云ふものゝなき動口ですから……そのことにつひては何れ誌上に申上ませううつかかり天機をもらしては面白くありませんからなあ

奥様に御目にかゝるのはまことに久しぶりでござひますれ鎌倉山の土穴からでゝきたキタナイ坊主をよくマア教へて下されましたこと、どんなに御イヤであつたでせうとあの時のこと思ひいだしては冷汗がでるので野猪的の傳道熱にかられてレデイに對する遠慮も禮儀も知らずせて技術ばかりも進歩のあとあればともかくもその後すて、願みすと云ふありさま、御日にかゝると何だか御小言でもいたゞくやうでカーテンをわたるアメリカの風いと寒く身に汐むやうですしかしピアノの音色きくことにゆるがせなりぬ師恩はわすれずせては耳ばかりもこの道をきゝわくるまでにあつたやと心がけてゐますどうか御叱りなさらんで下さひ

コ、アカチヨコレトでもこしらへませうかこの頃はカリホルニア名産のチーブルオレンサがでゝゐますアツブルはととも料理のやうに甘いしくはありません何れ歸朝の折は是非御捕で料理へ御出を願ひたいのです本當です田園の女子はどんなに喜ぶか想像がつかんほどです漁村の子守だちも歓迎するのでせう磯邊の御案内もいたしませう舟にのりて島の貝拾ひもできるでせうどうか是非本當に一度は料理に御出下さるやうに御約束していたゞきたい

のです

どうですこの机の上は？鏡に香水に刷毛の各種に剃刀にシヤボンにまるで日の本の蝦茶様の机のほとりのやうな、イヤハヤ俗臭いとい堪へがたくて御話にならんです前俗俗氣の相加はるは賀すべしと云ふやうな旦那様御手紙まで心の底に林香のくさみぬげぬ身には吊してくれぬは恨めしやとつぶやいたのですなるほど宗教の向上から云へば聖凡不二の境涯でなくてはならぬ筈ですしかしながら戒徳もなく禪機も未熟なる私にはやゝともすれば俗氣は心の底までも透りはせずやと寒心することが多いのです寒夜に祖塔を揮して青苔に堅し星光花の如きとき、猷身の誓を立てゝなどゝふるき戀の胸に畫かれて消えぬが如く、人にまげたくない、金ほしい、衣食住のたのしみにいそしみたいと云ふ今の心術にくらべてはいかに多幸にしていかにうるはしかりしかとしみじみもの思ふこともござひます

孤獨の生活の非をささる時來るべしとは中村先生まで冷かし半分は仰せられたことであります法燈を僧持して群生を照らさんともしるしや不自然なり病的なりと人に笑はるゝも席にあらず捲くべからず石にあらず轉すべからずすしかし所謂俗的生活にも、一歩ずつんで美的生活にも熱烈ある同情をもつてゐるものです唯その渦浪中に身を投ずるほどの元氣はなひため前途は黒暗々どうなるかしられど唯今のところにては昔の戀の忘れがたくて山居禪定を學びし時の閑寂の境慕はしくてたまりませぬまた修行の足らぬのでせういたしかたありませぬ

企てゝゐたことにつひてはどうかこうか見込がつくらしく、病氣だに起らずば二三年にして歸ること出来るかと思ふてゐますしか

し學びたい慾は中々深くなりゆくやうですから教へ子たちにはすまぬが四五年は放浪させてもらはねばならぬやうです
眞一さん御ねむいでせうサアこの詩集の上に御やすみ、眞二さんはモーれんねしてゐらつしやるやうですな、まだ時雨で知りましたこの月と來月とは毎日の雨です御寒いでせう私はかつて教へ子の病を見舞ひたる手紙に

やむときく幼き友のうつしえに心してふけアメリカの風とよんだことがござひます今宵の風の心なや身にしむ寒さ、ことは七年ぶりにて遠近の山に淡く白ひもの裝はしてゐることしかしこれは御恙もなく御年を迎へさせ玉はんとの御厚眞、さすらひ人のもとまで三千里も遠しとせずして御出くだされし温情には、うれしからぬ人の子やある、排斥の聲いかに起るとも生存競争のしもといかに身にふりかゝるとも吾には師あり友あり教へ子あり吹面ふ寒揚抑風、

原稿は二月分の間に合はぬやうです勉強して三月分にはキツトさしあげませう學校井に園の皆様へ宜しく申あげて下さい
一々手紙書きたいがくたびれてモーれむくなりました、グードナイト、？

